

## 座光寺19地区探訪⑭ 上野/上野新町



「上野」の地名は江戸時代の組名（五人組）にすでに見られます。土地の特徴から上野と付けられました。

昭和30年代、同地籍の桑園に市営住宅が造成されました。戸数が急増し、新しい集落「上野新町」が誕生しました。地図を眺めると、農地が広がる上野の中ほどに、住宅が集積した一角が見られます。上野新町は大堤地区に次いで新しい地区になります。

両地区は現在も、それぞれ独自のコミュニティとなっています。今回は上野・上野新町両地区の歩みを特集します。

麻績の里 座光寺便 上野・上野新町号 平成30年4月 発行 ■ 麻績の里ふるさと応援俱楽部（飯田市役所座光寺自治振興センター内）長野県飯田市座光寺25335 TEL 0265-22-1401

麻績の里●座光寺便からのお知らせ



シードル「座光寺・表参道」が  
まもなく完成!  
5月30日 表参道で披露イベント



参道に決まりました。

座光寺自治会と穂田（おん

でん）表参道町会では、5月30

日にこの完成披露イベントを

行います。試飲などをとおし

てシードルを紹介し、都会の

若い人が目を向け、表参道との交流がさらに促進すること

を期待しています。

9月には2度目の収穫作業

を行い、プロジェクトも2年目

に突入します。



- お申し込み先 座光寺自治振興センター内  
麻績の里ふるさと応援俱楽部  
(TEL.0265-22-1401・FAX.0265-22-1475)  
E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp
  - お申し込み締切 平成30年5月20日
  - お届け時期 平成29年5月末頃
- ※代金は商品到着後にお支払いください。





平成28年3月竣工の上野の会所



市営住宅時代の共同浴場跡地

やがてこの土地が払い下げとなり、現在の上野新町に姿を変えるのが昭和54年です。住民「丸となつた払い下げ運動」が奏功し、同年2月に当時の48戸全員で市と払い下げ契約を結びました。

それから約40年、市営住宅の時代から数えれば60年余が経過しました。新しい住民でゼロから作りあげたコミュニティはまた、より良く、つまりは良くなっています。

住宅は1棟2戸の長屋構造でした。当時は今のようなアパートもほとんどなく、若い夫婦を中心に大人気で、入居には抽選が必要でした。市内や近隣の町村の会社員を中心に徐々に人が移り住み、住宅団地が形成されます。そして昭和40年代に入り「上野新町」と

これまでの桑畑が風景を一変させるのは、ちょうど座光寺が飯田市に合併した昭和31年以降です。この年に市営住宅の最初の棟が完成し、33年に第2棟、34年に第3棟(最後の棟)が完成しました。市内にはこれに先駆けて、伊賀良松尾常盤台に市営住宅がありました。

して、新しいコミュニティが誕生しました。8~10戸でひとつの組をつくり、最盛期には6組まであったといいます。住宅には風呂場がなく、このため地区で「共同浴場」を設置しました。一日交替で男風呂・女風呂とし、その準備や掃除は持ち回りの当番制としました。入浴時間は夜9時までで、当時は子どもも多く、ほとんど芋洗い状態だったといいます。



昭和の道路の側壁跡  
(中央のコンクリート部)

## 明治、大正、昭和の道路跡

座光寺村史に、古市場線(万才線)について次の記述が載っています。

- 明治26年 古市場美女・持井田道路改修工事
- 大正元年 古市場線改修計画認可
- 昭和24年 古市場線の改修工事(28年竣工)

左の写真は現在の万才線ですが、各時代の道路跡が今も残っています。

右手に写っている石垣(左下の写真参照)は、明治の道路跡と考えられます。石垣の左手(北側)に幅2mほどの道が延びていました。

上の写真左の、石垣の上に延びている道が大正時代に完成した道路で、その下の歩道部は昭和28年に竣工した道路の跡です。かつては沢が流れ、周辺は竹藪におおわれていたといいます。明治、大正、昭和、そして平成に完成了現在のものまで、4つの時代の道路の名残を一ヵ所で見ることができます。



新墓地からの風景

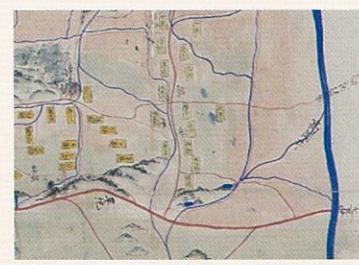


●座光寺小学校



文久2年の座光寺村絵図に描かれた上野周辺(部分)。「上の組」の文字が見える。

松村淨氏蔵



明治6年の座光寺村絵図より、上野周辺部分。  
戸主名が描かれている

## 歩けば！が見えてくる 座光寺19地区探訪<sup>⑯</sup> 上野／上野新町

江戸時代、幕府の方針で「五人組」という組(地区)が組織されました。座光寺には江戸時代後期、22の組があつたと史料にあります。そのひとつが上野で戸数は9戸と記されています。

上野の地区名はその後も変わらず、現在まで続いてきました。地籍の一部(古市場)が他の地区に移ることもありましたが、昭和30年代前から戸数が増え、現在は47戸となっています。

市営住宅造成以前は桑畑が一面に広がっていました。まだ養蚕が活況でしたが、しだいに果樹栽培に移行していきました。当時の栽培果樹は桃と梨(二十世紀)が中心でした。桃も梨も昭和30年代初期から増え続け、39年に生産高のピークを迎えるました。

## 古地図に描かれた上野